

9月1日は「防災の日」です

家族みんなで突発型地震発生時の対応を確認しましょう

9月1日(火)に、大規模地震の発生を想定した防災訓練を計画している自主防災会があります。家庭内や地域の訓練に参加し、災害時の避難行動などを身につけて、突発型地震発生時の防災知識を深めましょう。

危機管理課

☎995-1817



突発型地震発生時の対応

自宅にいるとき ▶▶▶

①身の安全を守る

- テーブルの下に身を隠しましょう。
- 屋根瓦やガラスの破片が、落ちてくることがあります。慌てて、外に飛び出さようにしましょう。

②脱出口を確保

- 大きな揺れで、ドアや窓が開かなくなることがあります。揺れの合間をみて、ドアや窓を開け、逃げ口を確保しましょう。

③火の始末

- 揺れが小さいときは、すぐに火を消しましょう。
- 揺れが激しいときは、揺れが収まってから火を消しましょう。
- ガスの元栓は確実に閉めましょう。
- 電気のブレーカーは切りましょう。

④揺れが収まっても油断しない

- 家族の安全を確認しましょう。
- 大きな地震の後、余震に注意しましょう。
- ラジオ、テレビ、同報無線などから正しい情報を得ましょう。

避難時の服装 ▶▶▶

- 肌を露出しないように長袖、長ズボンを着用しましょう。
- ヘルメットや防災ずきんなどで頭を保護しましょう。
- ガラスの破片や釘などでケガをすることを防ぐため、靴は底の厚く、履き慣れたものにしましょう。
- 軍手を着用しましょう。
- 荷物は、両手が使えるように背負えるものにしましょう。

避難するとき ▶▶▶

- 避難する前に、火の元を確認し、電気のブレーカーを切って避難しましょう。
- 避難先や安否情報を書いた連絡メモを残して避難しましょう。
- 車での避難は、緊急車両の通行を妨げることになります。徒歩で避難しましょう。
- 指定された避難地、避難所へ避難しましょう。
- 狭い路地、塀際、崖や川べりはできるだけ通らずに避難しましょう。

外出しているとき ▶▶▶

①街頭では

- カバンなどで頭を保護し、近くの空き地などに避難しましょう。

②地下街では

- 身を低くして、壁際に身を寄せましょう。
- 暗闇でも、壁伝いに移動すれば出入口にたどり着くことができます。冷静に行動しましょう。

③デパート・スーパーでは

- 陳列ケースや商品棚から離れましょう。
- 柱のそばや壁際などに身を寄せ、揺れが収まるのを待ちましょう。
- エレベーターは使用せず、階段で避難しましょう。

県トラック協会東部支部と 災害時支援協定を締結

市では、災害が起きたとき、各避難所などに防災用備蓄資機材や救援物資の搬送活動が迅速に行えるように、6月29日(月)に「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。

◆協定の主な内容

- 市が管理する防災用備蓄資機材を避難所などへ配送
- 市が管理する支援物資を避難所などへ配送
- 市が管理する支援物資の一時保管
- 市が指定する物資集積所における支援物資の仕分け業務